



「こんにちは、声の広報です。」
ただ今収録中！



千厩支部

ーボランティアグループ
声の広報ー

「こんにちは、声の広報です。青空をバックに中央に丸太で組んだ高さ8メートルの仮宮が写っています…」12月1日号の広報いちのせきの表紙はこんな解説をしました。

「ボランティアグループ・声の広報」は、視覚に障がいのある皆さんに聞いていただくため、主に広報いちのせき、せんまや地域広報、議会だよりをカセットテープに収録しています。

表紙の写真の解説から細かい記事まで、利用者に分かりやすいように、会員の工夫と細やかな配慮がされています。「担当は〇〇でした。」最後のページの収録が終わった後、こう付け加えます。これでテープの収録は完了です。

上手ではないけれど、楽しく聞き流していただける声の広報づくりを心がけています。

ふれあいネットワーク

いちのせき

社協だより

第6号

(2007年12月10日発行)



この広報は共同募金の一部をあてて発行しております。

社協ふくし祭り

ゆいっこ広場

災害ボランティアセンターをテーマに開催

一関市社協ふくし祭り「ゆいっこ広場」を10月14日に大東保健センターを会場に開催しました。今年は、近年発生が危惧されている地震への対応意識を高めるきっかけとするため災害ボランティア活動をテーマに開催しました。

テーマイベントには一関北消防署、日本赤十字



日赤奉仕団の非常食炊き出し訓練



来場者に AED を人形を使って説明

社、NTT東日本、赤十字奉仕団の協力をいただき、災害活動に関する企画を用意して来場者に体験をしてもらいました。このほかにも、子供からお年寄りまで楽しめる企画として、屋台コーナーや福祉施設の商品販売、フリーマーケット、無料で遊べるキッズコーナー等も開設し、多くの市民に今年も来場いただきました。

介護体験から交流が生まれる



在宅介護者の集いが、11月17、18日の1泊2日の日程で、宮城県鳴子町中山平温泉を会場に開催されました。

この事業は、1回目は宿泊型で開催し、2回目は日帰りできる形式で本年は計画しました。今回はその一回目の開催です。市内から参加した介護者は27名となり、開会にあたり介護体験を交えての自己紹介を終えると、お互いの介護について理解を深めることが、共通する話題となりました。入浴後の夕食をかねた懇親会では、参加者の交流がさ

らに盛り上がり、カラオケや踊りをお互いに披露して、交流が一番のリフレッシュとなりました。次回は在宅重度の寝たきりの方や障害の方を献身的に介護している方が日帰りで気軽に参加できるよう、介護者の集いは2月に予定しております。

川崎支部 秋のおでかけはやまびこ教室



11月9日 厳美溪温泉「いっくし園」においてやまびこ教室を開催しました。この事業は、社会福祉協議会川崎支部、手をつなぐ育成会、かわさき虹の会の共催で身体・知的・精神障害者の交流を図ることを目

的に開催しており、毎年の参加を心待ちにしている会員もたくさんおります。参加者は、育成会の会員、賛助会員・虹の会会員の21名が参加し、溪谷の周りを散策したり、おいしい料理を食べたり、温泉に入ったり交流を深めました。

千厩支部 親と子のコーチング講座開催



11月9日(金)千厩農村勤労福祉センターを会場にフリーアナウンサー阿部侑生先生(仙台在住)をお招きし、親と子の会話を通じて、子供が自分からすすんで行動を起こすコミュニケーション技法を学びました。とくに「きちんと子供の話を聞いて認めてあげることで、子供は安心感もち、自信がきます。」と話されました。

介護支援事業所だより

デイサービスセンター興田



デイサービスセンター興田では地区の文化祭に出品すべく秋の野山の風景をちぎり絵にするとともに、昔田んぼでよく見たかかしをご利用者のみなさんと作成いたしました。みなさん慣れた作業なのでとても早く出来ました。デイサービスセンターでは他にカレンダー作りや風船バレー、口腔顔面体操など、皆で楽しくやれるプログラムを用意しご利用者がまた来たいといわれるサービスに努めています。



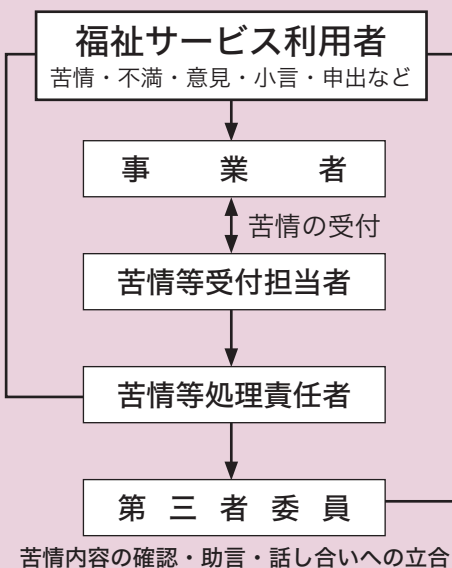
誕生会での職員の余興《写真は俵つみの踊り》



ちぎり絵の作品の前で

福祉サービスに関する意見・要望・苦情がありますか？

《苦情等処理の流れ》



◎第三者委員

岩淵 結祥

一関市字樋渡43-4
電話 23-7355

辰己 信俊

一関市花泉町字地平17-21
電話 82-3143

岩淵 善朗

一関市大東町曾慶字神蔭38-7
電話 75-4411

社会福祉協議会では、在宅福祉サービスの提供する事業者として、苦情の解決とサービスの質の向上を目的に、各種の事業内容について評価やサービスに関する苦情などについて利用者を第一に考え、苦情等に公正をはかるため、関係者以外から第三者委員をお願いしておりますので、ご紹介いたします。



よりよいサービスを提供するためみなさんからの声をうかがいます。

秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

社会福祉法人一関市社会福祉協議会（在宅福祉課） 電話 23-6020

赤い羽根募金は地域の中で、みなさんの暖かいご協力で展開されています。

千厩支部
福祉のまちづくりに
寄与する
「チャリティー
ゲートボール大会」



千厩町ゲートボール協会の運営による、チャリティーゲートボール大会が9月28日（金）、千厩コミュニティ広場を会場に開催されました。この大会は、岩手日報社主催により開催され、今回で19回目を迎えました。大会では、日頃の練習の成果を発揮し、次々と熱戦が繰り広げられました。

この大会の参加料65,000円は、赤い羽根募金に寄付されました。

一関支部
多くの方々の
ボランティアにより
「街頭募金」を展開



10月1日（月）赤い羽根募金運動初日に一関サテイにおいて、街頭募金セレモニーが開催されました。当

日は一関市長にもご参加いただき、たくさんの方の通行へ募金の呼びかけを行いました。

本年は一関サテイをはじめ、狐禅寺前堀地区に新たにオープンしたイオンスーパーセンター一関店においても街頭募金を展開し、一関地域の高校生をはじめ、禅興会、福祉施設の職員等の協力により、延べ3日間、21団体82人の協力をいただきました。

募金の呼びかけに、通行人の多くは快く応じていただいたので、街頭で募金の呼びかけを行った方々も心をあたためられました。こうして寄せられた街頭での善意は155,768円となりました。



川崎支部
児童会で、
組み立て式募金箱を
全児童が取り組む



門崎小学校児童会では、全校児童が組み立て式募金箱を活用した募金18,275円を「地域の福祉のために使ってください。」と千葉児童会長等代表者が事務所を訪れ届けてくれました。



平成19年度 赤い羽根共同募金運動中間実績 (単位:円、平成19年11月30日現在)

募金内容	目標額	中間実績額	一関事務所	花泉事務所	大東事務所	千厩事務所	東山事務所	室根事務所	川崎事務所
赤い羽根共同募金	19,240,000	17,347,738	5,001,839	2,995,228	2,882,320	2,685,898	2,047,020	1,029,777	705,656

岩手県共同募金会一関市分会



●社協では、さまざまなボランティア養成講座が開かれています。

**平成19年度
「災害ボランティア
コーディネーター研修会」**

「災害ボランティアセンターの
設置・運営を学ぶ」

県内でも地震や水害等の大規模災害が起こった際に、被災者支援を目的とした災害ボランティアへの関心が高まっています。

今回の研修会は、災害ボランティアセンターの設置・運営を学ぶために必要な基礎的な知識や、現場での多様な課題への対応について学ぶことを目的に、岩手県社協と一関市社会福祉協議会が共催し、一関市総合福祉センターを会場に、11月28日（水）、県内市町村社協、ボランティア・NPO団体関係者、行政機関から46名が参加し、開催されました。

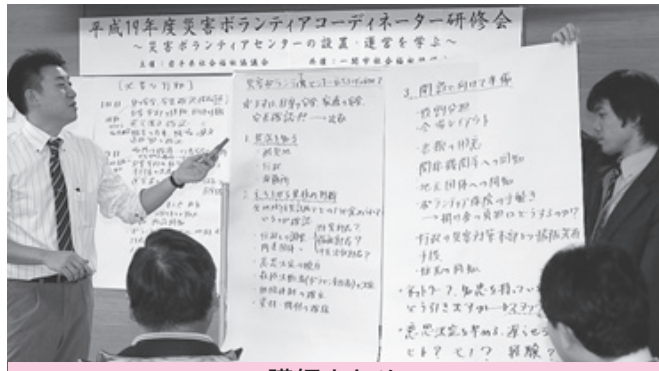


ワークショップ

災害ボランティアセンター立ち上げについての行動を考える訓練

午前の講義は「災害ボランティアセンターの全体像」～長岡市災害ボランティアセンターの運営から～と題し、新潟県長岡市社協福祉事業係主査 本間和也氏より、中越地震における災害支援活動状況を中心に、震災発生から災害ボランティアセンターの設立、実際の災害支援活動の状況や課題等、幅広い視点からの話をいただきました。

午後は7グループに分かれ、ワークショップ形式で、『日曜日の午前、震度6強の地震発生』という設定で、グループ毎に「いつ」「どこで」



講師まとめ

「日常における地域の見守り、つながりの大切さ」を確認しました。

「誰が」「何を」ということについて、災害発生から3日間で災害ボランティアセンターを立ち上げることを基本に時系列の動きを考え、必要な行動をグループの総意の中で導きだし、行動や課題の要点を共有し、まとめて講師より助言をいただきました。

参加者は、講師の実体験から強調して話された『まずは自身の安全、家族の安全、安否確認が大切です』との言葉をかみしめると共に、『日常における地域の見守り、つながりづくりの大切さ』を実感し、そのことを基に行政、社協、NPO・ボランティア等関係諸機関との協働の大切さについて学びを深めました。



一関支部
一関ボランティア団体連絡協議会
20周年記念講演会及び祝賀会

11月17日（土）、蔵ホテル一関を会場に、一関ボランティア団体連絡協議会20周年記念講演会と祝賀会が開催され、同協議会より登録団体中16団体41人が参加し、20周年を祝いました。

記念講演会では、岩手ボランティア育成会 事務局長 加藤隆男氏より、「やっててよかったボランティア」と題した御講演をいただきました。

講演では、『わざわざ』『何も』『そこまでしなくても』がボランティアの世界のキーワードであり、ボランティアの挨拶や姿勢、行動などにおいて、相手に感動を与えられるように、『わざわざ』『何も』『そこまでしなくても』と相手に思われるまでの真摯な活動が、これからのボランティアとして必要であるとの話しなされました。

祝賀会では、会員相互に20年を振り返り、思い出話に花を咲かせると共に、今後一層のボランティア活動推進をお互いに誓い合いました。

まごころ寄附

平成 19 年 9 月から 11 月までに、市民の皆様からご寄附がありました。

一関支部

一関市 一関市地区保護司会		
第18回チャリティー踊りの会出演6団体 様	80,000円	
一関市舞川字水上 千田 恵 様	車イス1台	
一関市真柴		
一関中学校バスケットボール部父母会 様	43,781円	
一関市宮前町 小岩 勝朗 様	100,000円	
一関市真柴字中田 佐々木富子 様	20,000円	
一関市 琴城流大正琴一関支部 絃の会 様	50,000円	
一関市 一関市母親クラブ連絡協議会 様	5,300円	
一関市関が丘 小関 三子 様	300,000円	
一関市 山目宮下民区 様	26,270円	
一関市 新邦楽舞踊若泉流一関地区 チャリティー新舞踊祭り実行委員会 様	50,000円	
一関市 いわいの里Yosakoiフェスタ in 一関実行委員会 様	31,865円	

花泉支部

花泉町涌津字石畳 今野 弘八 様	50,000円
花泉町 花泉高校PTA母親委員会 様	20,540円
花泉町永井字八貫 菅原貴良司 様	200,000円
花泉町永井字鞍懸山 佐藤 英樹 様	100,000円
花泉町永井字杉山 佐々木 茂 様	100,000円
花泉町 花泉民謡まつり実行委員会 様	20,000円
花泉町 花泉ダンス同好会 様	10,000円

大東支部

大東町鳥海字菖蒲沢 及川 浩典 様	100,000円
大東町大原 山口自治会 様	10,000円
大東町猿沢字板倉 村上 力勝 様	30,000円
大東町大原字一ノ通 菊池 耕悦 様	30,000円
大東町曾慶字惣ヶ屋敷 佐藤とし子 様	100,000円
大東町大原字堰の上 小山謙次郎 様	100,000円
大東町沢民字野手害 及川 森男 様	20,000円
大東町大原字立町 大原一番星 様	20,000円
大東町 大東芸術文化協会摺沢支部 様	50,000円
大東町沢民字続石 三浦 正美 様	100,000円
大東町鳥海字古戸前 小山 修 様	50,000円
大東町鳥海字小谷 伊東 一司 様	50,000円

大東町沖田字新田 千葉養之助 様	100,000円
大東町鳥海字向新畑 佐藤 隆 様	50,000円

千厩支部

千厩町千厩 千厩ライオンズクラブ 様	22,900円
千厩町千厩字石堂 (有)家具の小野寺 様	6,000円
千厩町奥玉字三沢 藤野 光男 様	200,000円
千厩町奥玉字女聖 金野 寿満 様	30,000円
千厩町磐清水字中上 伊藤 洋一 様	30,000円
千厩町千厩字前田 小山玄太郎 様	30,000円

東山支部

東山町松川字卯入道平 畠山 喜一 様	100,000円
東山町長坂字長平 吉田 清 様	30,000円
東山町松川字野平 千葉 健司 様	30,000円
東山町長坂 美よ乃会 様	50,000円
東山町松川字六日町 千葉 公信 様	100,000円
東山町松川字寺崎 松川第2区自治会 様	14,665円

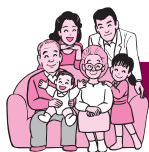
室根支部

室根町津谷川字竹野下 鈴木 久夫 様	50,000円
室根町折壁字中西 遠藤 秀一 様	10,000円
室根町矢越字大洞 畠山 定夫 様	30,000円
室根町折壁一丁目 渡辺 信子 様	50,000円
室根町折壁字勢返 北條 軍治 様	30,000円
室根町矢越字朴 星 光春 様	30,000円
室根町矢越字大畑 櫻井 清夫 様	100,000円
室根町折壁字兵沢 西城 一彦 様	10,000円
室根町矢越字矢越 小山 恭一 様	30,000円

川崎支部

川崎町門崎字官紅 菊地 孝二 様	100,000円
川崎町 かわさき手話サークル 様	12,500円
川崎町薄衣字矢作前 小野寺 仁 様	50,000円
川崎町門崎字布佐 千葉 阜吾 様	100,000円

こころから厚く
お礼申し上げます。



心配ごと相談所のお知らせ

一関市社会福祉協議会では、毎週木曜日と毎月第2金曜日(巡回)心配ごと相談所を開設しております。日常生活のうえでお悩みの方、困りごとや福祉等のあらゆる相談に応じて、諸機関と連携しながら、適切な紹介と助言をしております。秘密は厳守いたしますので、ご安心ください。

- ・開設時間は、午前10時から午後3時までです。
- ・相談は無料、お気軽にご相談ください。

	開設日	曜日	開設場所
1月	10日・17日 24日・31日	木	毎週木曜日 一関市総合福祉センター 連絡先 23-6020
	11日	金	巡回相談 花泉総合福祉センター 連絡先 82-4002
2月	7日・14日 21日・28日	木	毎週木曜日 一関市総合福祉センター 連絡先 23-6020
	8日	金	巡回相談 大東保健福祉センター 連絡先 71-1177
3月	6日・13日 27日	木	毎週木曜日 一関市総合福祉センター 連絡先 23-6020
	14日	金	巡回相談 千厩農村労働福祉センター 連絡先 53-2885

ホームページに関する
お問い合わせ先

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会ホームページ

<http://www.ichinoseki-shakyo.com/> E-mail : info@ichinoseki-shakyo.com